

イスラームにおける崇の精神（その3）：ザカとハッジ

:

明:ザカ（の喜）の精神と、ハッジについてのな明。

目:[事行とその践スラム的モラルと](#)

より: アブ アル=アラ "マウドウ ディ (IslamRelgion.com 集)

日1 Jun 2012

集日 11 Jun 2012

ザカ

3つめの はザカ です。 的にある一定以上の蓄えがあるムスリムは、年 の蓄えの2.5パ セン トを しい仲 たちのために わなければなりません。これは最小 で、多く えば うほど、神 からの 酬も高くなるのです。

私たちがザカ として うお金は、それを神が受け取るわけでも、かれがそれを必要だか ら しているのでもありません。神にはお金や施しなど必要ありません。かれはかれの ご慈悲により、私たちが他のムスリムを手助けすれば、それに じて 酬を与えてくれる のです。しかし 酬を受けるための重要な条件があります。神の名のもとで喜 を出すと きには、世俗的な利益を一切求めず、また博 主 者として名声を得る事も望んではいけ ません。

ザカ とは礼 や断食のような他の宗教行 と同じくらい基本的なものです。ザカ の最も基 本的な重要性とは、私たちに献身することを教え、自己中心的な欲求や豪 から逃れる というところにあります。ムスリムであるためには、神の道において世俗的で私的な 酬を考えずに汗水流して蓄えた私 を投げ打つことができなければなりません。けちで はいけないのです。本当のムスリムとは、ザカ ですすでに 牲を うことを学んでいるので

、必要とあらば神の道に自分の持っている全てのものを投げ出すことができます。

ザカ によって社会には、大きな利益がもたらされます。十分な がある全てのムスリムには、しい同胞を助ける があります。彼の は自分の快 さや のためだけに使われるべきではありません。なぜなら、孤 や寡 、 者や病人、能力はあるのに き口がなく持てあましている者、能力や知性があるのに、金 的な理由で学 に励めず、社会の役に立てる状までいけない者たちなどといった、その を分け与えられるべき人々がいるからです。彼の私 の中からそのような人々に施しをしようと思わない人は残酷です。何千人もの人々が えによって死に、非雇用に苦しんでいるときに、自らの私 を肥やしているだけの人ほど残酷な人はいません。イスラ ムはそのような自己中心的で、 欲で、欲ばりな人 を と なします。そのようなモラルがない人 は、他の人々への 情がなく、ただ私 を やしていくことしか考えません。イスラ ムはそのような考え方とは です。人はその私 を他人と共用し、今弱い立 にいる人たちに、自力で立ち、社会の有用な一 になれるように手助けするべきなのです。

ハッジ

ハッジとはマッカへの巡礼のことをいい、イスラ ムの4つめの です。これは 的にそうする余裕がある人が、最低一生に一度は行うべきものです。ムスリムが巡礼に行く には、欲望を抑制し、争いを避け、言 とともに であることが求められます。神は さと さに 酬 を与えると 束しています。

ハッジとはある意味で、すべての崇 活 の中で最も大きなものです。人は神を していなければ、 する身近な人たちをおいてそのような大きな旅には出ないからです。今では 自 や 行 がありますが、昔の困 で空腹に耐えなければならない、 には命がけの、何年もかかる旅路を渡ったムスリムのことを考えてみてください。

この巡礼は他のいかなる旅とも なります。ここでは巡礼者の考えは神に集中しており、この多大なる献身が原 力なのです。彼らはこの神 な 所に辿り着いたとき、信仰心と神々しさに ちた空 を感じます。彼らはイスラ ムの素晴らしさを するために各所におも

むき、それらの 所は彼らの心に忘れがたい印象を残し、彼らはそれを最期のときまで
えているのです。

さらには、ハッジには他の崇 活 と同じように、ムスリムが得られる利点が 山あります
。マッカはムスリムが一年に一度集い、お互いの 心ごとを し合う 所でもあります。ハ
ッジではムスリムがすべて平等であり、その国籍や文化の いに なく、同胞 や共感され
るべき存在であるということを思いだします。それゆえハッジは世界中のムスリムた
ちを国境を越えた同胞 で一つにするのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/650>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。